

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大学	<p>亜細亜大学（以下「本学」という。）は、教育理念「多様な夢に挑戦し、アジアの未来に飛躍する人材を育成する」及び、それを具体化した「教育の基本方針」（*）に基づき、建学の精神「自助協力」を体得し、各学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、各自の「個性値」を伸ばし、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 幅広い教養と高度な専門知識・技能を身につけ、柔軟に活用できる。 2. グローバルな視点から世界の諸文化を理解し、その多様性を尊重できる。 3. 他者と協力して、より良い社会の形成に能動的に貢献できる。 4. 目標を定め、自らのキャリアを形成し、生涯にわたって学びの姿勢を継続できる。 <p>*「教育の基本方針」とは「国際社会で貢献できる有為な人材の育成」「人間性重視の教育」「新しい社会を創り出す創造力あふれる人材の育成」の三つです。</p>
経営学部	<p>経営学部経営学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、広い意味での「実学」、すなわち、経営学の専門知識とその実践的活用を通してマネジメントを行う能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えてさらに次のような能力を修得した学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 企業や社会のしくみやあり方に関心を持ち、経営・会計・マーケティング領域を中心とした専門知識とともに幅広い教養を身につけ、ものごとを総合的に判断できる。 2. グローバルな環境において多様性の尊重と共感を念頭にコミュニケーションできる。 3. 情報リテラシーや数量的分析技術を身につけ、実践的に活用することにより問題の発見や解決に向け、能動的に社会に貢献できる。 4. 経営学ならびにマネジメント能力は理論と実践により培われることを自覚し、自らのキャリア形成に努めるとともに生涯にわたって学びの姿勢を継続できる。
	<p>経営学部ホスピタリティ・マネジメント学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、ホスピタリティ・ビジネスに関する専門知識と技能を身につけ、実務の遂行力+マネジメント能力+ホスピタリティマインドの3つの能力を修得した学生に学位を授与します。具体的には、本学のディプロマ・ポリシーに加えて、次のような能力を修得した学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ホスピタリティ・ビジネスの実務現場において、即戦力となる高度な専門知識と技能及び幅広い教養を修得し活用できる。（知識・理解） 2. 経営学・会計学・マーケティング等のマネジメントの知識とインプレッション等の表現、ホスピタリティ領域で求められる技能及びホスピタリティマインドを有し活用できる。（思考・判断・技能・表現） 3. グローバルな視点から高いコミュニケーション能力を有し、かつ多様な文化を尊重し、広く国際社会に貢献できる。（関心・意欲・態度・表現） 4. ホスピタリティ領域企業のある方や戦略を理解し、就業現場での学びを得ることで、今後自らのキャリアの形成ができる（技能、実践）
	<p>経営学部データサイエンス学科（以下「本学科」という。）の教育課程において所定の単位を修得し、本学のディプロマ・ポリシーに加えてさらに次のような能力を修得した学生に学位を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報技術と社会の関わりや古典的自然科学の基本的理解と、数理・データサイエンス・AIを原理から理解できる数学・統計学の基礎力を持ち、社会課題の解決に活用できる者 2. AI・機械学習に関して、データ収集と実装と可視化等を実行できるプログラミングの基礎的力量、ディープラーニングの事業活用を提案できる基礎知識、将来的にこれらの業務を英語で行える英語の基礎力を持ち、社会の課題解決に活用できる者 3. 未知のデータから新たな知見を引き出し実社会の問題解決に結びつけるマインドを持ち、社会の課題解決に活用できる者 4. 企業経営やビジネスに関する基礎的な知識を有し、社会課題の背景の理解並びに研究成果の現場への実装あるいは実践に関して洞察できる者
経済学部	<p>経済学部（以下「本学部」という。）の教育課程において、所定の単位を修得し、以下のような能力を身につけた学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済社会の直面する経済問題を発見し、解決するために必要な経済学の基本的な知識と分析ツールを身につけている。 2. 多様な視点から経済社会を総合的に理解するために必要な幅広い知識と教養を身につけている。 3. 将来のキャリア形成に向け、経済学の実践的な知識・思考やデータ分析能力を身につけている。 4. アジアを始めとするグローバル社会の一員として、直面する課題に積極的に取り組む能力を身につけている。 5. 他者を尊重しつつ自分の考えを的確に表明し、協働しながらより良い社会の形成に貢献する意欲と能力を身につけている。
法学部	<p>法学部（以下「本学部」という。）は、本学部の学位プログラムを修め、厳格な成績評価のもと、卒業に必要な単位を修得し、次のような能力を身につけた学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 法学・政治学の基礎的知識を習得し、法的・政治的な問題点を発見する能力を有している。 2. 論理的な思考力・構成力を基に、合理的かつ適正な手続過程によって問題を解決する能力を有している。 3. 正義・自由・平等といった法的・政治的な感覚を体得している。 4. 立場の異なる者の主張する諸利益を的確に衡量し、バランス感覚に富んだ判断をする能力を有している。 5. 自己の主張を他者に対して説明し説得する能力など、自ら積極的に社会参加できる資質を有している。
国際関係学部	<p>国際関係学部国際関係学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」に基づき、国際社会の平和と発展に貢献する人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 政治・法律・経済・社会にわたる社会科学諸領域の基礎知識を修得している。 2. この基礎知識を応用し国際社会の諸問題を考察することを通じて、国際関係への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。 3. 一定水準の英語運用能力を備えている。 4. 国際社会の一員としての倫理観を持ち、国際社会の平和と協力促進のために自ら積極的に貢献する姿勢を有している。
	<p>国際関係学部多文化コミュニケーション学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」に基づき、アジアをはじめとする世界諸地域における多文化間の交流と対話を促進できる人材の育成を目的としています。この目的を達成するために、以下の要件を満たす学生に学位を授与します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国境を越える多文化間交流の歴史と現状について基礎知識を修得している。 2. 一定水準の英語力及びアジア諸言語能力を備えている。また、これを基礎に、多様な文化背景を持つ人々をつなぐコミュニケーション能力を身につけている。 3. 多様な文化の現場での実地調査及び調査結果の分析・報告を通じて、多文化間交流への理解を深めるとともに、能動的な学習態度、社会現象を複眼的に見る広い視野、論理的な思考力、確かな表現力（特に日本語能力）が養われている。 4. 文化の相互尊重の理念に立って、多文化間の交流と対話を促進する積極的な姿勢を有している。
社会学部	<p>社会学部現代社会学科（以下「本学科」という。）は、建学の精神「自助協力」を体得し、学部が定める卒業要件を満たし、現代社会の課題解決に関する専門知識・技能を修得し、次のような能力・資質を備えた人物に学位「学士（社会学）」を授与する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会学及び社会調査の知識を十分に修得している。 2. グローバルな視点をもって、より広範に現代社会を理解し、その課題解決の基礎となる、社会諸科学の基礎知識を修得している。 3. ICT活用のための基本スキルを備えている。 4. 他者と協力して、より良い現代社会の創出に能動的に貢献できる。 5. 目標を定め、自らのキャリアを体験的に形成し、生涯にわたって学ぶ姿勢を継続できる。